

《担当者名》 ○奥田 かおり [k-okuda@hoku-iryo-u.ac.jp]
 大内高雄 (非) [takao.o@view.ocn.ne.jp]

【概要】

私たちを取り巻く社会や環境、生活が複雑・多様化するなかで生活を営む際に生じる課題もまた複雑・多様化している。人の生活にかかわるソーシャルワーク実践は、生活をする人の困難を理解しその困難や課題解決に向けてのミクロからマクロまでの広範囲な実践が求められている。

そこで、本講においてはソーシャルワーク基礎理論を素材としながら、あらためてソーシャルワークの倫理や価値を踏まえた実践の在り方について検討する。

【学修目標】

ソーシャルワーク実践に求められている、価値や視座を説明することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	購読分担	奥田
2	ミクロの視点を中心に オープンダイアログ 私たちはこうしている	序章 オープンダイアログはこうして生まれた 第1章 二つの土台	奥田
3	ミクロの視点を中心に オープンダイアログ 私たちはこうしている	第2章 常に意識しておきたい 第3章 対話の場を設定する 第4章 セッションを始めよう	奥田
4	ミクロの視点を中心に オープンダイアログ 私たちはこうしている	第5章 対話を促進させる工夫 第6章 リフレクティングを身につける 第7章 対話的な組織になるために	奥田
5	コミュニティワークを中心に 近年の福祉政策・実践動向とソーシャルワーク(1)	福祉政策動向 - 社会福祉法を読み解く	大内
6	コミュニティワークを中心に 近年の福祉政策・実践動向とソーシャルワーク(2)	地域共生社会の実現とコミュニティワーク	大内
7	コミュニティワークを中心に コミュニティワークの概念	概念と理念 プロセスと評価の視点等	大内
8	コミュニティワークを中心に コミュニティの史的展開(1)	アメリカでの理論展開と発展	大内
9	コミュニティワークを中心に コミュニティの史的展開(2)	日本における展開過程	大内
10	コミュニティワークを中心に コミュニティワークと地域福祉計画	背景 定義 プロセスと住民参加等	大内
11	コミュニティワークを中心に	Tさんのデイホーム実践に学ぶ等	大内

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	コミュニティワークの実際		
12	マクロの視点を中心に 脱「いい子」のソーシャルワーク 反抑圧的な実践と理論	はじめに 第 部 AOPを知る 1 反抑圧的ソーシャルワーク (AOP) とは何か 概論と方向性	奥田
13	マクロの視点を中心に 脱「いい子」のソーシャルワーク 反抑圧的な実践と理論	2第 部 AOPを知る カナダでのソーシャルワーク教育の状況と課題	奥田
14	マクロの視点を中心に 脱「いい子」のソーシャルワーク 反抑圧的な実践と理論	第 部 AOPの可能性 3「私」から始めるAOP ケアを中心とした社会をつくるために 4 ささやき声の共鳴から生まれる私たちのAOP 「しょうがない」の向こう側	奥田
15	マクロの視点を中心に 脱「いい子」のソーシャルワーク 反抑圧的な実践と理論	第 部 AOPと日本の現状 5 日本のソーシャルワーカー教育とAOP 社会福祉専門職教育に今こそAOPが必要な理由 6 精神障害と抑圧・反抑圧 7 障害当事者運動にみるAOP その可能性と課題 8 支援者エンパワメントとAOP 全体を通してのディスカッション	奥田

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

購読分担のプレゼンテーション(50%)、討議への参加(50%)

【教科書】

森川すいめい『オープンダイアローグ 私たちはこうしている』医学書院 2021年

坂本いづみ『脱・「いい子」のソーシャルワーク 反抑圧的な実践と理論 2021年

【学修の準備】

関連文献を熟読しておくことが望まれる